

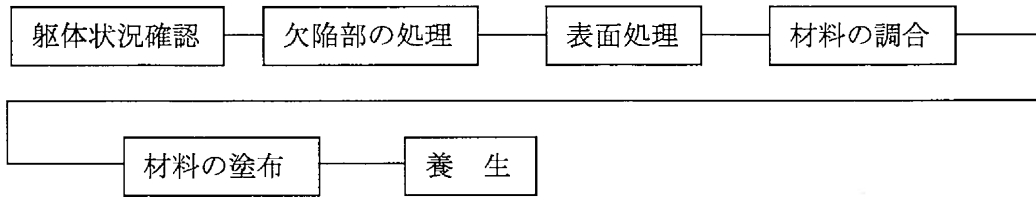
アタックダンセイ D-500

施工要領書

テクノスジャパン株式会社

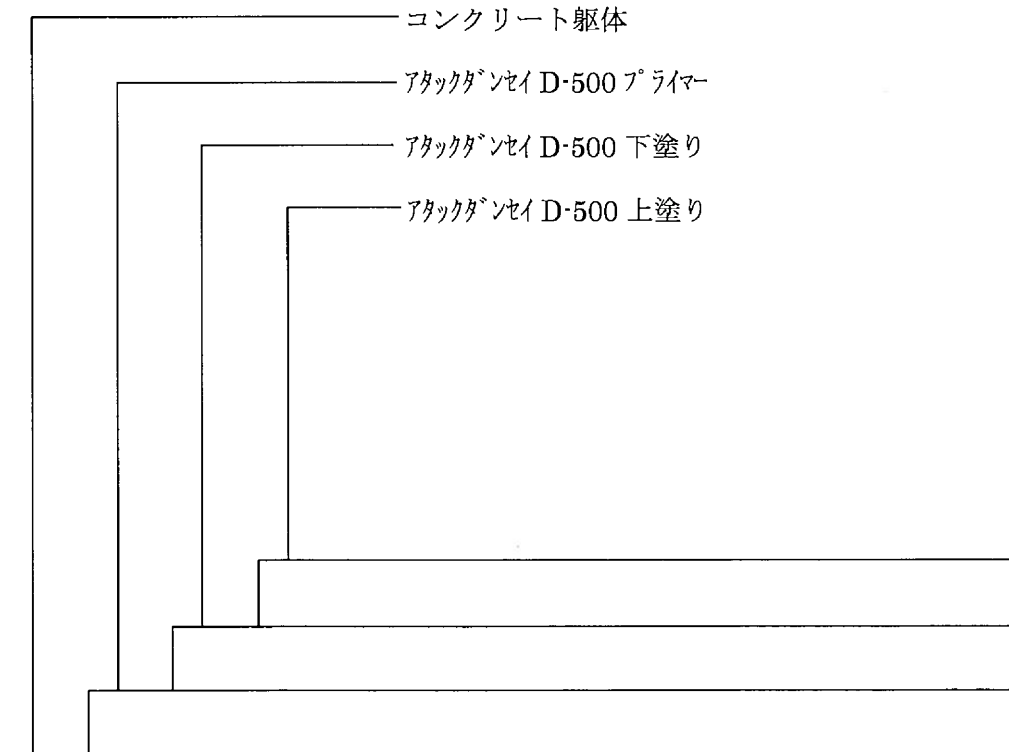
アタックダンセイ D-500 標準施工要領書

1. 施工手順



2. 施工仕様

工 程	使用材料	標準塗布量 (Kg/m ²)	塗装方法
プライマー	アタックダンセイ D-500 プライマー	0. 1 0	刷毛
下 塗 り	アタックダンセイ D-500	1. 0 0	刷毛・コテ又は吹き付
上 塗 り	アタックダンセイ D-500	1. 0 0	刷毛・コテ又は吹き付



3. 施工要領

3-1) 軀対の状況確認

漏水・木コン・打継ぎ部・豆板・クラック等の軀対欠陥部の有無及び、型枠段差・脆弱層の有無を確認する。

3-2) 軀体欠陥部の処理

- ① 漏水部は、止水材にて止水を行う。
- ② 打継ぎ部・豆板は、健全部まで研り出しポリマーセメントモルタルにて修整する。
- ③ 木コンは、セパモル Z-100 又はポリマーセメントモルタルを充填する。
- ④ クラックは V カットし、弾性コーキング材を充填する。

3-3) 表面処理

- ① 型枠段差は、ディスクサンダー・ケレン棒にて除去する。
- ② 脆弱層は、高圧水・ディスクサンダー・ワイヤーブラシ等にて除去する。
- ③ 汚れ・ホコリは、入念に清掃する。

3-4) プライマー塗布

アタックンセイ D-500 プライマー-1 に対して、水 4 の割合(重量比)で希釈し、ハンドミキサー等で十分練り混ぜ、 0.2 kg/m^2 をローラー刷毛等で塗布する。

3-5) アタックンセイ D-500 塗布

プライマーの指触乾燥を確認した後、混和液 8 kg、粉体 20 kg の割合で十分練り混ぜたアタックンセイ D-500 を、刷毛・コテ・スプレーガン等で下塗りする。
下塗り材の指触乾燥後、同様に上塗りを行う。

3-6) 養生

上塗り終了後、3日間(20℃)以上、養生を行なった後、通水する。但し、5℃前後の場合、通水までに10日間以上、養生を行なう。

4. 施工上の注意点

4-1) 材料は、乾燥した場所に保管して下さい。

4-2) 作業時には、ゴム手袋等を使用して下さい。

4-3) 施工面の浮き水は、施工前に除去して下さい。

4-4) 結露がある場合は、換気をして下さい。

4-5) 材料の練り混ぜは、十分行なって下さい。

4-6) 硬化が始まった材料は、水を加えて使用しないで下さい。

4-7) 表面処理後、軀体が乾燥している場合は、予め水で湿らせてから施工することもあります。